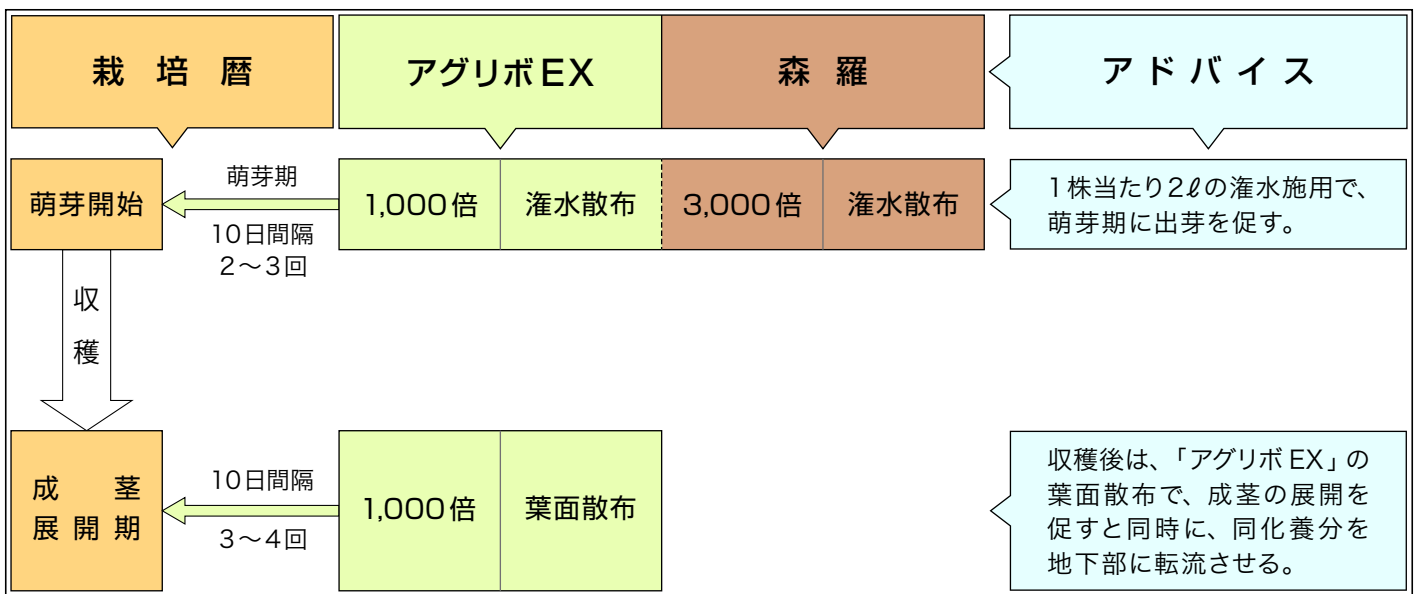


「萌芽～収穫期の土壌灌水施用」と「成茎への葉面散布」

萌芽～収穫期にかけて、「アグリボEX」または「森羅」を、土壌灌水（1株当たり2ℓ）して出芽を促します。成茎で同化された養分が地下部に供給され、株が養成されます。過繁茂にならない程度に樹勢を保つことが重要です。



立茎栽培では…

春芽に加え夏芽も収穫するので、灌水施用と葉面散布、または灌水散布を平行して行なってください。

台風などで茎葉が傷んだ時は…

傷んだ茎葉を取り除き、殺菌剤を散布した後、追肥と「アグリボEX」の葉面散布で生育の立て直しを図ってください。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328